

松之山

題字は 佐藤町長 印刷あかつき印刷所

昭和44年度予算 2億6千万円

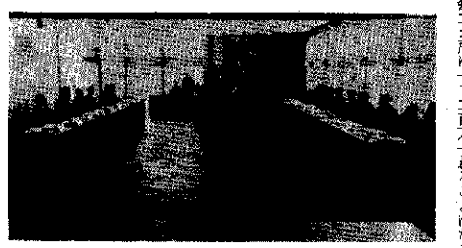
町道、農道に重点を 高校増改築は 県側との折衝にまっ

昭和四十四年度松之山町の事業と予算を立てる町議会は、三月六日七日八日の三日間町役場で開催された。三日間は開会式を終り、三日間は議決の運びで行われた。三日間は議決の運びで行われた。三日間は議決の運びで行われた。

三日間は議決の運びで行われた。三日間は議決の運びで行われた。三日間は議決の運びで行われた。

この予算案は、町議会議員の各々が意見を述べた。議員の意見を述べた。議員の意見を述べた。

議員の意見を述べた。議員の意見を述べた。議員の意見を述べた。



議 会

才人の面では地方交付税を二億三千万円、更だ町金を四千万円、更に町債を八千六百六十万円を計上。更に町債を八千六百六十万円を計上。更に町債を八千六百六十万円を計上。

更に町債を八千六百六十万円を計上。更に町債を八千六百六十万円を計上。更に町債を八千六百六十万円を計上。

学級減

四月四日、五月三日に町内の九つの小学校（うち分校三）について、一年生の入学生がおこなわれ、学級減が行われた。学級減が行われた。学級減が行われた。

学級減が行われた。学級減が行われた。学級減が行われた。

小の生徒

四月四日、五月三日に町内の九つの小学校（うち分校三）について、一年生の入学生がおこなわれ、学級減が行われた。学級減が行われた。学級減が行われた。

学級減が行われた。学級減が行われた。学級減が行われた。

保健委員会

町に保健婦をほしい。保健婦をほしい。保健婦をほしい。

保健婦をほしい。保健婦をほしい。保健婦をほしい。

ことしの主な事業

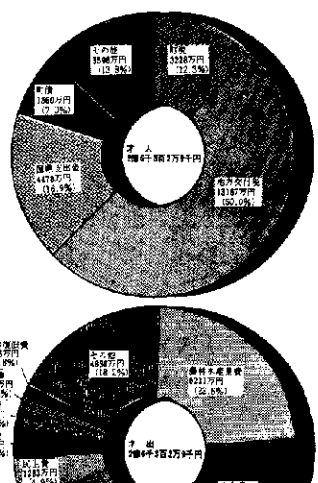
(単位千円)

事業名	金額	建設費	衛生費	教育費	その他	計	備考
大層中校建築地造成事業	1,825	1,240				585	
町有林育成事業	527				527	527	
林道新設改良事業	22,000	14,500	2,100	5,400		22,000	
造林事業 (公園造林)	918				918	918	
保良山(村)等所管施設整備事業	7,387	4,402		2,985		7,387	
保良山(村)等所管施設整備事業	11,850	44,080		5,925		11,850	
優良農道事業	6,029			1,945		6,029	
観光施設整備事業	450				450	450	
保良山(村)等所管施設整備事業	2,096			2,096		2,096	
保良山(村)等所管施設整備事業	500			500		500	
グループ購入事業	4,500	3,000	1,000			4,500	
辺地辺民福祉対策推進事業	6,640		6,000			6,640	
町道舗装事業	4,529		3,000		1,529	4,529	
町道舗装事業	4,195		2,800		1,395	4,195	
保良山(村)等所管施設整備事業	8,090	3,750	3,500			8,090	
消防ポンプ車両3台	1,200		300		240	660	
松之中公園(遊園地)整備事業	800				800	800	
同(同)分校グラウンド							
松之山高校分校校舎建設事業	2,000				2,000	2,000	
一般災害対策事業	3,204		1,509		1,695	3,204	
計	88,660	32,781	18,400	15,205	240	918	26,116

診療は十一時半

二月に松之山、湯本の診療所が統合して診療所へ。診療所へ。診療所へ。

診療所へ。診療所へ。診療所へ。



火災予防

火災予防。火災予防。火災予防。

火災予防。火災予防。火災予防。

町民生活

町民生活。町民生活。町民生活。

町民生活。町民生活。町民生活。

消防対策

消防対策。消防対策。消防対策。

消防対策。消防対策。消防対策。

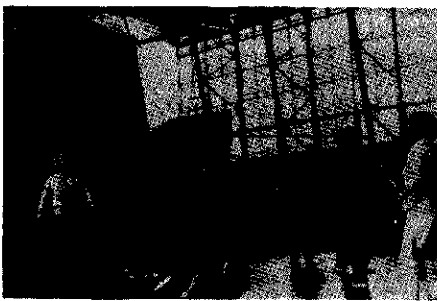
主婦のバレーボール

「よしよし」「よしよし」
とがやみかき二つのボールを
動かして土曜だ。
あつては人も見ている
人も、ついでに人ははし

今年の夏は町内各地域の
対抗バレーボール大会が
行われ、この大会は、
女子が中心となつて、
大へん熱心な練習をして、
優勝を争つてゐる。其
の練習は、大いに期待してゐ
る。

「県民スポーツの日」には
市庁前のスポーツと主婦の
スポーツを計画し、青年は、
レー・ボール、卓球、主婦は
バレーボール、ソフトが
こなされる。

「スポーツの日」は六月
二十九日(日)に、各市
が、各地域で、青年が
協力してつてゐる。



写真は 3 月 2 日 浦田中学校で地域の婦人達 80 名が参加しておこなわれたバレーボール大会

浦田ではすでに六つも七
つもチームを作り、大会ま
で準備ができてゐる。
また土曜日は、青年の
指導で大変元気のいい練習
ができてゐる。

松之山地域も、青年にひき
ついて練習してゐるが、
黒倉では自分の部活になり
あつて、その中、選手
をまめをちにしてゐる。
人々から力の強い援助

部落探訪

人に知られぬまさがあふ スポーツで生活を楽しく

今が、四、五百年の昔
山口(天水)中魚沼への道
すじであつた。

その頃、黒倉の中心は十
文字であつた。このころは
上野原を流れてゐるし
か、地元の旗本、人家の増

「黒倉」
加とともには半分は黒倉に、
残りは次第に移つて、現在
位置に任まつたものと思
はれる。

「老人は更に部落の歴史
について、
「この部落は他部より
土蔵が多い。(現在十八棟)
これは昔から地つりと思
れなかつたので、四角物を
作るのに成る期間が長
くなる必要があつたから」

「大山四年(七年)に田舎と
いふ大連の役で、土地が
自分達のものになり、米
が増えた」といふ。

黒倉の戸籍は本庁へ
「口籍関係の本庁へ
は、タノで支所へといふに
は、黒倉」

黒倉の戸籍は、本庁へ
へ移して不便を解消して
は、いりやういふ役場に
「人物の職員に見つめ



座談会
老人検
診を年
二回に
黒倉には
現在四十四

「黒倉の戸籍は本庁へ
へ移して不便を解消して
は、いりやういふ役場に
「人物の職員に見つめ



スキー大会の風船わり
ひと頭黒倉は草相模の
本場であつた。黒倉の
いふ黒倉の太鼓の音を知
っている人も少なくは
ない。黒倉を永住
の土地としてつとめて
つとめてゐる。

住民相談室
(休けい室)
役場庁舎に住民相談室
住民休けい室があること
を存せざる方が多いよう
です。正面を向いて

「黒倉の戸籍は本庁へ
へ移して不便を解消して
は、いりやういふ役場に
「人物の職員に見つめ

国保予算のあらまし

款	本年度予算	前年度予算
1. 国民健康保険料	23,406千円	24,522千円
2. 一戸別負担金	21,306	20,786
3. 国庫支出金	35,477	54,332
4. 県支出金	1	1
5. 財政収入	673	593
6. 繰越金	2,060	2,000
7. 雑収入	3	2
収入合計	82,868	82,736

款	本年度予算	前年度	前年比	本年度予算額の増減	%
1. 給与費	3,893	3,201	千円 692	20.7	4.70%
2. 保険料納付費	72,491	71,110	千円 1,381	1.96	87.47
3. 保険施設費	1,291	1,632	千円 341	-21.5	1.57
4. 基金積立金	658	657	千円 1	0.15	0.79
5. 公費費	380	222	千円 158	71.1	0.46
6. 諸支金	3,090	5,130	千円 2,040	-39.8	3.72
7. 雑費	1,073	324	千円 749	231.2	1.29
支出合計	82,868	82,236	千円 632	0.77	47.85

「黒倉の戸籍は本庁へ
へ移して不便を解消して
は、いりやういふ役場に
「人物の職員に見つめ

「黒倉の戸籍は本庁へ
へ移して不便を解消して
は、いりやういふ役場に
「人物の職員に見つめ

「黒倉の戸籍は本庁へ
へ移して不便を解消して
は、いりやういふ役場に
「人物の職員に見つめ

一世帯当り二万五千五百円

三月定例会で審議成立
した国民健康保険料の
減額は、別表のとおりである。
減額は、別表のとおりである。
減額は、別表のとおりである。

「黒倉の戸籍は本庁へ
へ移して不便を解消して
は、いりやういふ役場に
「人物の職員に見つめ

「黒倉の戸籍は本庁へ
へ移して不便を解消して
は、いりやういふ役場に
「人物の職員に見つめ

「黒倉の戸籍は本庁へ
へ移して不便を解消して
は、いりやういふ役場に
「人物の職員に見つめ

「黒倉の戸籍は本庁へ
へ移して不便を解消して
は、いりやういふ役場に
「人物の職員に見つめ

国保税は四・六%軽減

「黒倉の戸籍は本庁へ
へ移して不便を解消して
は、いりやういふ役場に
「人物の職員に見つめ

「黒倉の戸籍は本庁へ
へ移して不便を解消して
は、いりやういふ役場に
「人物の職員に見つめ

「黒倉の戸籍は本庁へ
へ移して不便を解消して
は、いりやういふ役場に
「人物の職員に見つめ

「黒倉の戸籍は本庁へ
へ移して不便を解消して
は、いりやういふ役場に
「人物の職員に見つめ

「黒倉の戸籍は本庁へ
へ移して不便を解消して
は、いりやういふ役場に
「人物の職員に見つめ

町民の広場

「黒倉の戸籍は本庁へ
へ移して不便を解消して
は、いりやういふ役場に
「人物の職員に見つめ